



「稲妻旋風」へ準備万全

ばばたけ

広島サンダース

久原 大輝



今季初めて全員がそろった練習での記念写真(12日)

大同生命SVリーグの開幕まで、いよいよ残り4日。ゆめタウン広島でのトークショー、関係団体を招いての激励会、比治山神社での必勝祈願など、連日のイベントを通してチームの士気は高まっている。西本圭吾、永露元稀、クーパー・ロビンソンの3選手もナショナルチームでの活動を終えて合流し、チームはいよいよ本番モードに突入した。

12日には、開幕を想定した紅白戦を実施。チャレンジシステムこそ導入できなかったが、試合の流れは本番さながら。スタメン組のグリーンとリザーブ組のホワイトに分かれてゲームを実施。第1セットはホワイトがディフェンスで粘り強さをみせ、フェリペ・ロケ、新井雄大と両エースのスパイクを防ぎラリーを制してセットを先取。第2セット以降は互角の展開を見せたが、クーパー選手のパイプ攻撃が随所に決まり、最終的に3-1でグリーンが勝利。ホワイトも全員が躍動し、チーム全体の底上げを感じさせる内容となった。

レギュラーラウンドは全44試合の長丁場。目の前の1勝を積み重ねながら、チームとして一戦ごとに成長していくことが重要だと考える。SVリーグ2年目、広島サンダースが「稲妻旋風」を巻き起こす準備は整った。(広島マネジャー)